



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月8日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
コード番号 3055 URL <https://www.hokutake.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞鍋 雅信
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 親松 和史 TEL 011-633-1030
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年11月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 有 (動画(録画)配信予定)

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	135,884	4.8	1,071	△22.3	1,421	△17.2	730	△47.9
2023年3月期第2四半期	129,650	6.0	1,379	33.5	1,716	25.4	1,401	17.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,807百万円(6.0%) 2023年3月期第2四半期 1,705百万円(0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	33.35	—
2023年3月期第2四半期	62.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	147,621	58,697	39.8	2,720.48
2023年3月期	137,937	57,443	41.6	2,614.23

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 58,683百万円 2023年3月期 57,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.50	—	12.50	20.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	△0.8	2,600	△1.1	3,100	△20.3	2,000	△26.7	91.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	24,400,000株	2023年3月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,828,862株	2023年3月期	2,431,862株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	21,899,154株	2023年3月期2Q	22,263,122株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が解除され、経済活動は緩やかな回復が続いております。しかしながら、不安定な国際情勢や円安の進行、さらに物価や労務費高騰の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、医薬品卸売事業の株式会社ほくやくでは7月に札幌支店にAIピッキング支援ロボット導入の実証実験を開始いたしました。これは、作業者の負担軽減の観点から作業の効率化および標準化を目的としており、1品あたりのピッキング時間の大幅短縮や作業要員の省人化の実証ができました。また、介護事業の株式会社モルスの運営する「ふれあいの森南12条館」では、9月に札幌市内の大学と共同で「アートレクリエーション」を実施し介護施設職員と大学生のアイデアにて高齢者の活力支援を行いました。

以上の状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,358億84百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は10億71百万円（同22.3%減）、経常利益は14億21百万円（同17.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年度は投資有価証券売却益が3億89百万円あった一方、当期は投資有価証券評価損として1億11百万円発生した影響などにより、7億30百万円（同47.9%減）と大幅減益となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

（医薬品卸売事業）

医薬品卸売事業におきましては、2023年4月に薬価改定が実施されました。5類に移行後も新型コロナウイルス感染拡大防止による営業活動の制限は現在も続いております。また、長期収載品の売上減少に加え、後発医薬品における供給面での混乱が未だに継続している状況です。このような厳しい環境ではありますが、新型コロナ治療薬の売上が増加したことと、抗がん剤など新薬の販売にも積極的に取り組んだ結果、売上全体では前年度を上回る結果となりました。また、利益では、品目ごとのきめ細かい価格管理に取り組みましたが、仕入原価の上昇および新型コロナワクチン物流受託の利益減少により減益となりました。

その結果、売上高は999億92百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は5億2百万円（同20.0%減）となりました。

（医療機器卸売事業）

医療機器卸売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は収まり、手術や検査などは回復傾向となったため医療材料の売上は前年度を上回りました。しかしながら備品においては前年度までの新型コロナ感染症対策予算等の減額による影響が大きかったことに加え、4月の診療報酬改定に伴う医療材料の価格交渉などの影響もあり、売上全体では減収、利益につきましても減益となりました。

その結果、売上高は316億53百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は5億81百万円（同25.2%減）となりました。

（薬局事業）

薬局事業におきましては、5月から新型コロナウイルス感染症の位置付けが「2類」相当から「5類」へ変わった影響もあり、処方箋枚数は前年対比で1.3%増加しております。売上は薬価改定の影響による薬剤料のダウンはあるもののほぼ計画通りに推移しました。利益につきましては、前年10月の4社統合の効果等により大幅な改善となりました。

その結果、売上高は66億48百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は27百万円（前年同期は営業損失40百万円）となりました。

（介護事業）

介護事業におきましては、福祉用具のレンタル・販売および住宅改修と介護ロボットの普及推進における営業員の増員・育成の強化を図りました。また、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の方針により、売上は安定的に推移しましたが、株式会社モルスのサービス付き高齢者向け住宅の新棟の開設から間もないことに加え、例年実施されている介護ロボット導入支援事業が、上期から下期へ変更となったことなどもあり減益となりました。

その結果、売上高は20億44百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は1億6百万円（同38.5%減）となりました。

（ICT事業）

ICT事業におきましては、一昨年度より発生しておりました半導体不足によるIT機器製品の出荷遅延も回復傾向となり、IT機器は順調に推移いたしました。しかしながら、グループ会社や得意先でICT投資案件の一部が先送りや中止となり、売上高は前年度を下回る結果となりました。利益面におきましては、本年10月から施行されたインボイス制度に伴い、利益率の高いプログラム改修案件を堅調に受注したため、営業利益は前年を上回りました。

その結果、売上高は7億94百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益は33百万円（同62.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりとなりました。

総資産は1,476億21百万円（前連結会計年度末は1,379億37百万円）となり、96億83百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が40億88百万円、受取手形及び売掛金が23億39百万円、商品及び製品が11億28百万円、土地が16億77百万円、投資有価証券で15億52百万円増加したことなどによるものです。

負債は889億23百万円（前連結会計年度末は804億94百万円）となり、84億29百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の支払債務が79億84百万円、賞与引当金が90百万円、未払法人税等が80百万円、繰延税金負債が2億82百万円増加した一方、役員賞与引当金が78百万円減少したことによるものです。

純資産は、586億97百万円（前連結会計年度末は574億43百万円）となり、12億54百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が4億55百万円、その他有価証券評価差額金が10億66百万円増加した一方、自己株式の取得により2億78百万円減少したことによるものです。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ40億88百万円増加し、221億10百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は64億94百万円（前年同期比507.3%増）となりました。これは、増加要素として、税金等調整前四半期純利益13億8百万円（同37.8%減）、減価償却費5億21百万円（同1.1%減）、仕入債務の増加79億84百万円（同157.7%増）、未払消費税等の増加1億22百万円（前年同期は2億70百万円の減少）、未収入金の減少2億64百万円（前年同期比63.0%減）などがありました。

減少要素として、売上債権の増加23億9百万円（同18.8%減）、棚卸資産の増加11億30百万円（同7.9%増）、法人税等の支払4億32百万円（同39.4%減）があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は18億10百万円（前年同期は1億22百万円の使用）となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得により17億47百万円（前年同期比178.7%増）、投資有価証券の取得により70百万円（同2.7%増）の支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5億96百万円（前年同期比5.9%減）となりました。これは主に自己株式の取得2億78百万円（同27.6%減）、配当金の支払2億73百万円（同27.8%増）およびリース債務の返済43百万円（同26.0%増）があったことによるものです。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,022	22,110
受取手形及び売掛金	54,990	57,329
商品及び製品	17,388	18,517
仕掛品	1	3
その他	7,914	7,314
貸倒引当金	△12	△17
流動資産合計	98,305	105,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,940	9,696
土地	9,914	11,591
建設仮勘定	465	314
その他（純額）	799	812
有形固定資産合計	21,118	22,414
無形固定資産		
のれん	960	905
ソフトウェア	457	478
その他	346	343
無形固定資産合計	1,764	1,728
投資その他の資産		
投資有価証券	15,338	16,890
長期売掛金	94	94
長期貸付金	311	269
繰延税金資産	347	313
退職給付に係る資産	0	—
その他	760	751
貸倒引当金	△104	△98
投資その他の資産合計	16,748	18,220
固定資産合計	39,631	42,363
資産合計	137,937	147,621

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,915	79,144
電子記録債務	2,505	2,260
1年内返済予定の長期借入金	1	2
未払法人税等	693	774
賞与引当金	982	1,072
役員賞与引当金	138	59
その他	2,347	2,379
流動負債合計	77,584	85,693
固定負債		
長期借入金	14	13
繰延税金負債	1,457	1,740
再評価に係る繰延税金負債	120	120
退職給付に係る負債	350	334
長期未払金	396	446
資産除去債務	337	339
その他	232	234
固定負債合計	2,910	3,230
負債合計	80,494	88,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	41,315	41,771
自己株式	△1,709	△1,987
株主資本合計	52,428	52,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,839	6,905
土地再評価差額金	△742	△742
退職給付に係る調整累計額	△95	△85
その他の包括利益累計額合計	5,001	6,078
非支配株主持分	13	13
純資産合計	57,443	58,697
負債純資産合計	137,937	147,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	129,650	135,884
売上原価	119,667	125,997
売上総利益	9,983	9,887
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	535	576
給料及び手当	3,893	3,876
賞与引当金繰入額	865	930
役員賞与引当金繰入額	56	59
退職給付費用	177	188
法定福利費	729	745
賃借料	144	144
その他	2,200	2,294
販売費及び一般管理費合計	8,603	8,815
営業利益	1,379	1,071
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	156	162
不動産賃貸料	71	71
持分法による投資利益	54	67
貸倒引当金戻入額	17	1
その他	107	127
営業外収益合計	409	432
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸原価	58	55
遊休資産諸費用	8	12
その他	6	15
営業外費用合計	73	82
経常利益	1,716	1,421
特別利益		
投資有価証券売却益	389	—
特別利益合計	389	—
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	1
投資有価証券評価損	—	111
特別損失合計	1	112
税金等調整前四半期純利益	2,104	1,308
法人税、住民税及び事業税	788	727
法人税等調整額	△86	△149
法人税等合計	702	577
四半期純利益	1,402	730
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,401	730

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,402	730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	292	1,066
退職給付に係る調整額	9	9
その他の包括利益合計	302	1,076
四半期包括利益	1,705	1,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,704	1,806
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,104	1,308
減価償却費	527	521
のれん償却額	54	54
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△17	△1
受取利息及び受取配当金	△158	△164
支払利息	0	0
持分法による投資損益（△は益）	△54	△67
固定資産売却損益（△は益）	0	0
固定資産除却損	1	1
投資有価証券売却損益（△は益）	△389	—
投資有価証券評価損益（△は益）	—	111
売上債権の増減額（△は増加）	△2,843	△2,309
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,047	△1,130
仕入債務の増減額（△は減少）	3,098	7,984
未払消費税等の増減額（△は減少）	△270	122
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△14	△0
賞与引当金の増減額（△は減少）	160	90
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△73	△78
未収入金の増減額（△は増加）	715	264
預り金の増減額（△は減少）	△34	△57
その他	△136	110
小計	1,620	6,758
利息及び配当金の受取額	162	168
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△713	△432
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,069	6,494
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△463	△1,698
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△163	△48
投資有価証券の取得による支出	△68	△70
投資有価証券の売却による収入	566	—
貸付金の回収による収入	8	8
その他	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122	△1,810
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	△0
自己株式の取得による支出	△383	△278
配当金の支払額	△214	△273
リース債務の返済による支出	△34	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△633	△596
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	313	4,088
現金及び現金同等物の期首残高	21,091	18,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,404	22,110

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売 事業	医療機器卸 売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	87,990	32,713	6,710	1,988	217	30	129,650
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,549	251	6	1	631	1,572	7,012
計	92,540	32,964	6,716	1,990	848	1,602	136,663
セグメント利益又は損失 (△)	627	777	△40	172	20	910	2,468

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	2,468
セグメント間取引消去	△1,010
のれんの償却額	△46
棚卸資産の調整額	△31
四半期連結損益計算書の営業利益	1,379

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

2 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	95,536	31,369	6,642	2,042	263	29	135,884
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,455	283	5	1	530	1,282	6,559
計	99,992	31,653	6,648	2,044	794	1,312	142,444
セグメント利益	502	581	27	106	33	615	1,866

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	1,866
セグメント間取引消去	△719
のれんの償却額	△43
棚卸資産の調整額	△32
四半期連結損益計算書の営業利益	1,071

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。